

健康通信 しずおか

No.43

2015
12月

TRANSITION TO HEALTH (043)

ワクチンの真相 ②

～ ワクチンの生物兵器疑惑 ～

はじめに

インフルエンザワクチンの製造も手掛ける製薬会社として知られる「化血研」(化学及血清療法研究所)(熊本市)が、未承認の方法で血液製剤を製造していたことが発覚した。この不正は遅くとも1974年から40年以上続き、12製品の31工程で行われていた。国の査察で不正が発覚しないよう、虚偽の記録を作成するなど悪質で、“金儲けのためには手段を採らない” “国民の健康・安全は二の次” というこのメーカーの経済優先の体質が窺えた。

生物兵器：Soft Kill Weaponとしてのワクチン疑惑

今から20年前の国連(UN)の公式政策「1996年生物多様性の査定」(The 1996 Biological Diversity Assessment an official UN policy)には“to carry out the orderly reduction of population by 80%”とあり、世界各国政府は国連から「8割の人口削減を整然と行うように」と求められていたことが発覚した。その1つの方法として、すべての**主要ワクチンに癌ウイルス**を封入し(cancer viruses in every major vaccines)、接種するよう(be shot up)求められていた。歴史的に観ると、**不活化ポリオワクチン**の開発者であるジョナス・ソーク(J.E. Salk)博士は「アメリカ合衆国でのポリオワクチンの1回目の接種だけで、9,800万人の子供たちに**癌ウイルス**を植え付けることができた」と平然と自慢げに述べたことは有名で、米国政府報告書に記載されていたことが報じられた(ジャーナリスト Alex Jones 氏他)。

今から40年以上前の1973年の米国の「**国務省記録 200**」に「アメリカ合衆国の公式政策は、『戦争をはじめ、飢饉を作り、各国の女性に断種(不妊)を強制して、**世界人口を減らすこと**』」とあったことが、1992年に機密解除されて**公**になった。「地球は65億人を養うことはできない、そんなに沢山の食糧は無い」「あたかも病気で死んだかのように見せかける科学技術を開発すべき」と、“賢い人はワクチンを受けないだろうが、愚かな人たちが**ワクチン**を受けて病気になるで死んでくれる”と期待しているのだという。また、この1年前、1972年のWHOの内部文書に「**ワクチンの形態**をした**生物兵器**を開発すべきである」とあったことでも裏付けられた(ジャーナリスト Alex Jones 氏)。

確かに、既存のワクチンが効いたというデータは一つもないが、**ワクチンの健康被害**の報告は何千何万とある。「インフルエンザワクチンは効かない」と、国立感染症研究所の元ウイルス対策室長が告発したり、子宮頸がんワクチンは「ヒトパピローマウイルスとは無関係」とFDA(米食品医薬品局)が公表、「子宮頸がんワクチンが、子宮頸がん発生リスクを44.6%も増加させた」とFDA内部文書に記載されていることが暴露された(Mike Adams 氏「Natural News」)。また、米国での事実だが、約2,000人の同性愛者に善意で**C型肝炎ワクチン**を接種したところ、全員が**HIV**に感染し

公益財団法人 静岡県産業労働福祉協会

〒421-0113 静岡市駿河区下川原6丁目8番1号

TEL054(258)4855(代) FAX054(258)4403

<http://www.kenshin-shizuoka.net>

E-mail:info@kenshin-shizuoka.net

てしまったと、罪の意識に苛まれて^{さいば}いる良心的なドクターがいるのも事実。このような事件・事実は枚挙に暇がない。

ご存知のように、多くのワクチンには添加物（保存剤）として水銀が含まれ、許容量（？）（忍耐力というべきか？）の400倍とも4,000倍ともいわれ、体重が125kg以上はないと耐えられないとも言われている。こんなワクチンが乳幼児に打たれている。これでは、ワクチン接種によって脳神経系の障害や難病、癌が発生しても不思議ではない。

Maurice R. Hilleman 博士（1919.8.30—2005. 4.11）の内部告発？

2009年、あの新型インフルエンザ騒動の年、ワクチンの害に全く無知な医者^{いとま}のひとりであった私だったが、「今回のインフルエンザは絶対に怪しい！」と思い検索し、GW中の5月4日、YouTubeで或る動画にたどり着いた。それは、“Merck Vaccine Chief Brings HIV/AIDS to America”（右）というものであった。モーリス・ヒルマン氏は、麻疹・耳下腺炎・日本脳炎・A型及びB型肝炎など数々のワクチンを開発した著名な微生物学者である。ビデオの内容は、「ワクチンを作る培



養細胞に危険なウイルスが入っている」「アフリカの野生のサルからエイズウイルスを持ち込んだ」「ワクチンには以前から野生の発癌性ウイルス群（SV40）が入っていた」「黄熱病ワクチンに白血病ウイルスが入っている」「ロシアはワクチンの実験場で、ロシア人が短命なのは（右下グラフ参照）、ロシア向けポリオワクチンに仕込んだ発癌ウイルスのため」等々の驚愕の告発ビデオであった。質問者はカナダ・トロント大学歴史学部教授で医学史の権威 Edward Shorter 博士（上写真・著書）であった。また、この動画を最初に upload したのは、“DNAを修



復させる愛の周波数 528Hz”で有名な Leonard G. Horowitz 博士（左写真・著書）であった。二人とも世界的に著名な権威者である。現在の YouTube 動画に

Maurice Ralph Hilleman の証言

- * 40 DIFFERENT VIRUSES IN THESE VACCINES
..... NOT ALL INACTIVATED.
- * Yellow fever vaccine had leukemia virus in it.
- * This initiated the global cancer pandemic more than anything else.
- * We knew [SV40] was in our [Vaccine culture] seed - stock.
- * It was good science at the time.
- * This is a scientific affair within the scientific community.



は、Horowitz 博士自身の解説版もあり、信憑性が高いと判断し、ここに紹介している次第である。



日本でエイズ（HIV）汚染ワクチンを販売！？

私は、2009年5月、ワクチンに関するニュースをネットで検索してみた。すると、日本では全く報じられていなかった恐ろしいニュースが海外では報じられ、YouTubeにUP^{アップロード}されていた。そんな中、私が実際に行動を起こしたのは次のニュースである。NHK クローズアップ現代、日経メディカル、各政党本部・支部、国会議員などに調査を求めた。

『 アメリカ NBC NEWS ; January 5, 2009 米・Bayer社、米政府と共謀して日本でエイズ・

HIV 汚染ワクチンを販売 ～ FDA（米・食品医薬品局）の内部文書から明らかに ～ 』

Bayer 社は、当初、HIV 汚染を知らず米国内で販売。数千人（大部分は子供）がエイズを発症、死者も出、米国内での販売を中止。その後、FDA は海外での販売なら許可。Bayer 社は、日本やフランス・スペイン等のヨーロッパ諸国、ラテンアメリカ諸国へ輸出。FDA 議事録には「議会、医学会、一般市民に気付かれることなく静かに対処するように」と記載されていた。これが真実ならば、「日本は将来、小児期のワクチン接種が原因で、20～30年後、エイズ蔓延で年間100万人単位の死者が出るのか」と私は危機感を抱いた。アフリカでは、ワクチン被接種者がエイズを発症して死亡するという事態が実際に起こり、WHO によるワクチン接種地域とエイズ患者発生地域が完全に一致。HIV に汚染されたワクチンが接種されたからであった。これは医師なら誰もが知っているはずの常識（であってほしい）。

私は、2009年5月26日 厚労省医薬食品局 監視指導・麻薬対策課のT氏に、汚染ワクチン輸入疑惑の調査を約束してもらった。6月4日 ワクチンメーカー4社に問合せたところ、「汚染ワクチン液体原料は輸入していない、厚労省からの問合せ・調査は未だ無し」と。6月8日 厚労省担当者いわく「調査の結果、日本のワクチンは安全。汚染ワクチン液体原料の輸入の事実なし」と。6月10日 私は再度ワクチンメーカーに問合せたところ、厚労省の調査の事実はない。厚労省の担当者は調査もせず、善良な医師？に“安全”と嘘の回答をしていたのだ。驚くなかれ、これが当時のワクチン行政の体質・真実だったのだ。（今は違うかもしれない。化血研にメスを入れ始めたから・・・？）

おわりに 腸内細菌に善玉菌、悪玉菌がある。ウイルス感染症にも、麻疹・風疹・耳下腺炎などのように幼児期にしっかり本物に罹^{かか}っておけば、終生の全般的な強い免疫を培うのに役立つ感染症もある。全てをワクチンで予防しようとするのは自然の摂理に反すると考える。 TRANSITION TO HEALTH （理事長・医師 丸山 正明）